

## 議員自己評価結果からの課題抽出

### ■主要事業に入れる項目

- 議会政策形成サイクルの進化
- 町民との意見交換会の深化と充実(多様な住民参加機会の創出)
- 議員間討議(自由討議)の強化
  - ・ 外部評価手法を確立する

### 議会基本条例

(P 3)	前年同
第3条(3) 議会は、自由かつ達な討議により意見集約し運営したか。 Aは増加しているが、課題との意見が未だ存在する →討議力(自由討議・議員間討議)	
(P 4)	
第4条(1) 委員会は、審査及び調査に当たり、資料等を公開し、町民に分かりやすい議論を行ったか。 予算決算特別委員会に意見あり。下降。 →討議力(自由討議・議員間討議)	
(P 8)	前年同
第4条(4) 委員長は、討議による合意形成に努め、委員長報告を作成し、報告に当たり、論点、争点等を明確にしたか。 委員長自らの課題・反省点 →討議力(自由討議・議員間討議)・論点の明確化	
(P 9)	前年同
第5条(2) 議員(あなた)は、議員相互間の討議を重んじて活動したと考えるか。 課題との意見が未だ存在する →討議力(自由討議・議員間討議)	
(P 10)	前年同
第5条(3) 議員(あなた)は、町政の課題全般について、町民の意思を的確に把握するとともに、自らの能力を高める不断の研鑽により、町民の代表としてふさわしい活動をしたか。 課題との意見が未だ存在する。 →議員力、自己研鑽	
(P 11)	前年同
第6条 議会は、議員の政策形成及び立案能力等の向上を図るため、芽室町議会議員研修要綱に基づき、議員研修を実施したと考えるか。 コロナ禍での開催を評価する意見は増加したが、課題との見方もある	

<p>→議員研修の強化</p>	<p>(P 13) <span style="float: right;">前年同</span></p> <p>第6条第2項 議会は、議員研修の充実、強化に当たり、広く各分野の専門家、町民各層等から情報を得て議員研修計画を策定し、研修会及び研究会などを積極的に開催したと考えるか。</p> <p>コロナ禍での開催を評価する意見は増加したが、課題との見方もある</p> <p>→議員研修の強化</p>
<p>(P 15) <span style="float: right;">前年同</span></p> <p>第8条第3項・第4項 議会は、本会議及び委員会の運営に当たり、参考人制度や公聴会制度を十分に活用し、町民の意向及び学識経験者等の専門的かつ政策的識見等を議会の意思決定に反映したと考えるか。</p> <p>議会は、請願、陳情を町民による政策提案と位置付け、審査において、提案者の意見を聴く機会を確保したと考えるか。</p> <p>公聴会制度の研究、コロナ禍での参考人招致の考え方を課題とする意見</p> <p>→住民参加、専門的知見の活用</p>	<p>(P 16)</p> <p>第8条第5項 議会は、議会報告と意見交換会を毎年開催するなど、広く町民の意見を聴取する機会を確保し、議会、議員による政策提案を行ったと考えるか。</p> <p>下降。</p> <p>→住民参加、議員力</p>
<p>(P 16) <span style="float: right;">前年同</span></p> <p>第9条 議会は、町政に係る論点、争点の情報を、議会独自の視点から町民に対して周知したと考えるか。</p> <p>Aは増加しているが、課題との意見が未だ存在する</p> <p>→情報公開</p>	<p>(P 17) <span style="float: right;">前年同</span></p> <p>第9条第2項 議会は、情報通信技術（ICT）の発展を踏まえた多様な広報手段を活用し、多くの町民が行政に関心を持つように議会広報活動を行ったと考えるか。</p> <p>Aは増加しているが、課題との意見が未だ存在する</p> <p>→情報公開、ICT活用</p>
<p>(P 18) <span style="float: right;">前年同</span></p> <p>第11条第2項 議員（あなた）と町長等との質疑応答は、一問一答方式により、広く町政上の論点、争点を明確にしたと考えるか。</p> <p>下降と上昇。課題との意見が未だ存在する</p> <p>→討議力（質問力）、自己研鑽</p>	

<p>(P 1 9)</p> <p>第 1 1 条第 3 項 議員（あなた）の一般質問等は、目的を十分認識し、単に町長等への質問に終始することなく、<b>討議による政策論争</b>を展開することができたか。</p> <p><b>A も増加しているが、課題との意見が未だ存在する</b></p> <p>→討議力（質問力）、自己研鑽</p>	<p><b>前年同</b></p>
<p>(P 2 2)</p> <p>第 1 2 条 議会は、町長等が提案する重要な政策等の意思決定において、その水準を高めるため、7 項目をもとに<b>政策形成過程を論点として審議</b>したと考えるか。</p> <p><b>下降。</b></p> <p>→議員力、自己研鑽、討議力</p>	<p><b>前年同</b></p>
<p>(P 2 3)</p> <p>第 1 2 条第 2 項 議会は、政策等の提案を審議するに当たり、政策等の適否を判断する観点から、立案、決定、執行における<b>論点、争点を明確</b>にし、<b>執行後を想定した審議</b>を行ったと考えるか。</p> <p><b>下降。</b></p> <p>→討議力（自由討議・議員間討議）</p>	<p><b>前年同</b></p>
<p>(P 2 3)</p> <p>第 1 3 条、第 2 項 議会は、決算審査において、町長等が執行した政策等（計画、政策、施策、事務事業等）の評価を行ったと考えるか。</p> <p>議会は、予算に十分反映させるため、<b>議会の評価結果を町長等に明確に示</b>したと考えるか。</p> <p><b>課題との意見が未だ存在する</b></p> <p>→議員力、自己研鑽、討議力</p>	<p><b>前年同</b></p>
<p>(P 2 5)</p> <p>第 1 6 条 議会は、議員による討議の場をもとに、<b>議員相互の討議</b>を中心に運営したと考えるか。</p> <p><b>課題との意見が未だ存在する</b></p> <p>→討議力（自由討議・議員間討議）</p>	<p><b>前年同</b></p>
<p>(P 2 5)</p> <p>第 1 6 条第 2 項 本会議及び議会の諸会議への町長等に対する出席要請は必要最小限に留めるものとし<b>議員間で活発な討議</b>を行ったと考えるか。</p> <p><b>課題との意見が未だ存在する</b></p> <p>→討議力（自由討議・議員間討議）</p>	<p><b>前年同</b></p>
<p>(P 2 6)</p> <p>第 1 6 条第 3 項 議会は、委員会における委員外議員が発言できる機会を保障したと考えるか。</p>	

**意見あり**

→討議力（自由討議・議員間討議）・情報公開

（P 27）

**前年同**

第17条 議会は、町政に関する重要な政策及び課題等について、議会としての共通認識を深めるとともに、政策形成能力の向上を図るため、議員**政策討論会**を開催したか。

**下降。**

→討議力（自由討議・議員間討議）、議論深化、政策提案・提言

（P 30）

第22条 議会は、議会及び議員の政策立案能力を向上させ、議会活動を円滑かつ効率的に行うため、議会事務局の機能の強化及び組織体制の整備を図ったと考えるか。

**意見あり**

（P 31）

**前年同**

第23条、第2項 議会は、**議会図書室を適正に管理し運営**するとともに、その機能を強化したと考えるか。

**議会図書室**は、町民、町長等においても**利用**することができたと考えるか。

**課題との意見が未だ存在する**

→議会図書室

（P 32）

**前年同**

第24条 議会は、町民の信頼を高めるため、**不断の改革及び活性化**に努めたと考えるか。

**課題との意見が未だ存在する**

→議員力、自己研鑽、議会改革の推進

（P 33）

**前年同**

第24条第3項 議会は、**他の自治体議会との交流及び連携**を推進し、分権時代にふさわしい議会のあり方についての調査、研究等を行ったかと考えるか。

**課題との意見が未だ存在する**

→議員力、自己研鑽、議会改革の推進

（P 34）

**前年同**

第24条第5項 議会は、**議会モニター及び議会サポーター**を設置し、提言その他の意見を聴取するとともに、議会運営に反映したかと考えるか。

**課題との意見が未だ存在する**

→議員力、自己研鑽、議会改革の推進

(P36)

第27条第3項 議会は、会議を定刻に開催し、会議を休憩する場合には、その理由、再開の時刻を傍聴者に説明したと考えるか。

下降

→情報公開

~~※「主要」＝主要事業、「策」＝活性化策、「研」＝研修計画~~